

経営発達支援事業 事業評価委員会 議事録

- 1、日 時 令和7年7月23日(水) 午前9時30分～午前11時
- 2、場 所 新宮商工会議所 役員会議室
- 3、議 題 (1) 経営発達支援事業の概要
(2) 令和6年度 経営発達支援事業実施報告
(3) その他
- 4、出席者 9名
外部委員：中小企業診断士 大久保通氏
和歌山県東牟婁振興局地域づくり部地域づくり課長 野添章氏
新宮市企画政策部商工観光課長 津越紀宏氏
商工会議所：尾畑専務理事、速水事務局長、山口経営指導員、
山下経営指導員、福田経営指導員、田中経営指導員

5、議 事

大久保委員長の挨拶後、議事に入った。

(1) 経営発達支援事業の概要

速水事務局長より、経営発達支援事業の概要について別紙の通り説明がなされた。

(2) 令和6年度 経営発達支援事業実施報告

速水事務局長より、経営発達支援事業の実施について報告がなされた。

外部委員からの意見については以下の通り。

I.経営発達支援事業の内容

1.地域の経済動向調査に関すること

大久保委員長：景気動向は少し上向いている感じはありますか？

速水事務局長：コロナの時と比べると良くなっていますが、今は全体的には少し厳しくなっていると思います。

大久保委員長：アンケート上は前より良くなっているとなっていますが。

速水事務局長：このアンケートは去年のもので、最近の状況をみるとインバウンドも増えているので、宿泊業を新たにされる方が増えておりますが、飲食店や建設関係

は厳しいと聞きます。

大久保委員長：人手不足感はかなりありますね。

速水事務局長：アンケート結果をみると建設業が人手不足を感じていないという回答がなかった。小売業などは家族経営をされている方も多いので、人手不足を感じていないというところもある。特に建設業ではおおいに人手不足を感じるというのが 60%、少し人手不足を感じるというのが 40%、人手不足を感じていないというところは 0 になっているので、他の業種に比べて影響が大きいのかと思います。最近では飲食店等でも人手不足という話を聞きます。時給を上げてもなかなか来てくれないと、その影響で営業時間を短縮したり休日を増やさざるを得ない事業所も出てきている。原材料・仕入価格の高騰については、特に飲食業では値上げしても高騰に追いつかないというところもあり、価格転嫁しても全てまかないきれていないような状況です。

大久保委員長：価格転嫁 2 回目というところも出てきていると思いますしね、先手を打たないと。今まで価格転嫁を我慢していたところとか、転嫁しきれていないところが多かった。

速水事務局長：価格転嫁してもまた原材料価格が高騰して、スピード感が少し違うかなと思います。原材料価格高騰の影響か最近ではランチでも 1,000 円を超えるところが多くなってきたように思います。

大久保委員長：以前はランチで 1,000 円を超えるのはどうかっていう話をしていましたが、今は 1,000 円超えが当たり前になってきましたね。

2.需要動向調査に関すること

津 越 委 員：新宮市内の事業者は商談会とか展示会に出展されるケースは比較的少ないですか？新宮市では展示会等への補助として、新宮市ビジネスチャンス支援補助金を 3 年前から公募しておりますが、なかなか来ないですね。

速水事務局長：少ないですね、補助金も案内させて頂いているのですが、こちらで把握していないだけかもしれません。接点のある事業者だと限られたところしか商談会等には出ていないですね。商談会となると費用の面や距離的な問題もありますし、新宮市は特に製造業が少ないので商談会等に出る事業者が少ないので現状です。

津 越 委 員：去年は補助金を使って建機・重機の会社が出展されていました。

速水事務局長：後は継続的に支援しているところで食品製造の会社がありますが、それは後ほどご報告させていただきます。

津 越 委 員：和歌山県産品商談会に行っても少ない、相対的にそういった事業者が少ないのかもしれませんが。紀北の方がメインかなと思いますし、距離的に遠いというところもあると思います。

速水事務局長：和歌山県産品商談会であれば、わりと出展しやすいとは思いますが、都市型の展示会になると出展料で 50 万とか必要になるのでなかなか難しいかなと思います。商談会に出るとなると供給する能力もある程度必要になってくると思いますし、個人経営とかだと新商品を開発してもお店で売るぐらいで、商品はあったとしても全国的に売っていくのは難しいというのが多いのかもしれない。

大久保委員長：安定供給は求められますしね、商談会に出た事業者はいらっしゃったのですか？

速水事務局長：後ほど説明させていただきますが、昨年度当所で支援させて頂いたのは 2 社、BtoC でさきほどの市の補助金を使用した 1 社と食品製造でプレミアム和歌山の関係の商談会で、商品だけ出品するような形です、職員が同行してというのは無かったです。

大久保委員長：実際に行って流通チャンネルが開拓できたとか成果が出たというのは？何かあると事業者もモチベーションが上がるとは思います。

速水事務局長：なかなか成果を出すのは難しいですね。一昨年初めて大型の展示会に行った事業者は、それをきっかけに他の展示会も出るようになりました。やはり展示会に慣れている他の出展者を見ると、見せ方とかもとても上手ですし、お金もかかっています。

大久保委員長：特に食品関係となると基本的に出展は製造業が多いと思いますが、卸売業がいろんな業種で減ってきている、事業承継ができていないとか規模を大幅に縮小しているとかで卸先に卸せなくなっているのか、それに代わる卸先

を開拓しなければいけない状況が起きている。本当は展示会等でどんどん増やしていきたいと考えているようだが、実際は難しいというのが現状みたいです。ニーズはあると思いますが、卸売側が大変になっている。

速水事務局長：色々な種類の展示会も増えてきて展示会自体は盛り上がっているみたいです。

3.経営状況の分析に関すること

4.事業計画策定支援に関すること

大久保委員長：Canva 活用セミナーというのは？

速水事務局長：Canava というアプリを使ってチラシや画像を作ったりして販促につなげるというセミナーです。事業者の方から事業計画を策定したいというニーズはなかなか無いので、補助金の申請に併せて策定するというケースがほとんどです。あとは融資やセミナーへの参加を通じてなど入り口は色々あると思いますが補助金が入り口になっているのが現状です。創業に関しては融資の相談も多かったのですが、最近は融資の相談はあまりなく補助金についての相談が多い。新宮市のにぎわい補助金や新たに創設された小規模事業者持続化補助金の創業枠などもあります。持続化補助金の創業枠は創業していないと申請できないので、今から創業するという方には当てはまらないのですが。

大久保委員長：持続化の創業型というのは？金額的には？

速水事務局長：創業支援事業の認定を受けて創業して 3 年以内の方が対象となるので、今から創業するという方の資金調達には使えないです。創業して間もない方が販路開拓するための取組が対象になってくるので、使いづらいところではあるのですが、補助金額は 200 万上限の補助率 2/3 で一般型は 50 万なので支援としては良いと思いますが、認定を取る必要や創業していないと対象にならないですし、自己負担もありますし。今年度は 3 件申請しています。創業関連の補助金としては地域課題解決型起業支援補助金、わかやま産業振興財団の補助金ですね、令和 6 年度は飲食店 1 件の支援を行い採択されました。今年度新宮市からの申請は無かったので、地域としては色々あると思いますが、申請件数が少ないのでもう少し広報もやっていく必要があるのではと思います。ただ、当所で支援したのが無かっただけで、独自に申請して採択されていないだけかもしれませんが、毎年少ないですね。新宮市からは去年 1 件、その前も毎年 1 件か 2 件はあったのですが、今年度は 1 件もなかったで

すね。

大久保委員長：DX 関係のセミナーは結構人気ですか？

速水事務局長：そうですね、内容としては本来の DX というよりは、IT 活用というところが現状ですけど。やはり SNS の内容は興味を持たれる方が多いです。

大久保委員長：セミナー4 回、78 人は多いですね。DX の具体的な課題としては何が多いですか、販売促進や顧客開拓という感じなのか、生産性を上げていくとか。

速水事務局長：同じ方が各セミナーに参加されている事も多いです。現状、DX で生産性を上げるというところまでできているのは少なく、販売促進での活用が多いです。後は使ってみたいが、何をしたらいいかわからない等でしょうか、そうなってくるとセミナーのレベルの合わせ方が難しく、初心者向けにすれば使える人にはちょっと物足りないでしょうし。

今年度の DX 関係のセミナーについては、AI の活用セミナーを 3 回程度予定しています。

これまでは SNS、インスタグラム等が多かったのですが今年度は AI 活用が多いです。

5.事業計画策定後の実施支援に関すること

大久保委員長：このフォローアップ頻度が 346 回というのは、補助金申請をした後にということでしょうか？

速水事務局長：やはり補助金申請等で事業計画策定の支援まで行くとその後の支援に続きやすいので、フォローアップ回数としては結構多くなっています。補助金を申請して実績報告や事業遂行など、この数値は令和 6 年度に補助金申請を行った事業者のフォローアップだけでなく、それより前に策定、補助金申請を行った事業所のフォローアップ回数も含まれています。例えば、補助金の申請、実績報告を出して補助金をもらった後、販促や資金調達の部分等でフォローした回数も含まれていますので目標より多くなっています。

通常の融資等の相談よりも、計画策定を支援した事で、事業者も相談しやすい関係性ができているというのもあると思います。

津 越 委 員：和歌山県よろず支援拠点というのは、新宮でも出張相談等を行っているのですか？事業者の方は結構相談に来られますか？

速水事務局長：2 ヶ月に 1 回行っておりまして、そんなに多いという事はないですが、今年度は割と相談予約が埋まっていると思います。

大久保委員長：派遣もやっていますよね。わかやま産業振興財団で企業プロデュース事業というのがありますが、専門家派遣の回数にカウントされないですし、色々な専門家が派遣できて、同じ専門家で複数回、単発など制限が無いので使いやすいかと思います。

速水事務局長：派遣もありますし、オンラインでも相談可能です。コーディネーターは専門分野の方が来られる場合もあるので、今までは開催日しか広報していなかったのですが、現在はこのコーディネーターが来られますというように会報などにも掲載して広報しています。

大久保委員長：利益率 3%というのはどの利益段階ですか？

速水事務局長：粗利・最終利益は事業者によって変わってくとは思いますが、伸びている事業者もおります。

6.新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

津 越 委 員：市内でお店もやっているけどネット販売の売上の方が大きいような事業者はいますか？ネットショップは自社サイトでやられている事業者もいると思いますが。

速水事務局長：ありますね、SNS 活用の実施結果にありますエキスパートバンク活用の 2 社の内の 1 社です。店舗もありますがネットをメインでされています。自社サイトもあったと思いますが、楽天メインでされていたと思います。ただ楽天は検索の上の方に表示されるようにするには各種条件を満たさないといけないらしく厳しくなったみたいですし、翌日配送に対応したりとなかなか小規模の事業者では難しいと思います。

II.経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

III.地域経済の活性化に資する取組

大久保委員長：令和 6 年度、観光関係の需要はコロナ前を超えていますよね。新宮は通過地点というかバックパッカーがあまりお金を使わないというのもあると思い

ますが、コロナの時に比べると 10 倍ぐらい増えていますが動き自体はあると思うので、その対応や事業者の意識をいろんな形で促進していってもらえればいいかと思う。

速水事務局長：民泊を始められる方が多いのですが、事業をしていて副業的にされる方が多い。例えば飲食店や小売店をやっていて空き家を活用して民泊をされるとか。

大久保委員長：宿泊施設の開業、ゲストハウスが増えてきていますよね。

速水事務局長：そうですね、ゲストハウスの相談も多いです。ただ、勝浦や本宮に比べて新宮での宿泊者数はかなり少ない。インバウンド旅行者を見かけるので結構来ているように思っ、新規で始められる方が多いという話を聞きます。結構繁盛しているところもありますが、やはり勝浦に比べると少ないと聞いています。

大久保委員長：新宮の宿泊者数は去年も一昨年も 2 万人、勝浦で 8 万人ぐらいです。勝浦の 1/4 ぐらいで宿泊数は少ないですが、バックパッカーの関係だと熊野古道界限で宿泊する場所が無い、特に熊野川町など。熊野川町小口は小口自然の家がありますが、あの辺にも欲しいところですね。宿泊できるところが無いので、そういう整備というのは長期的に考えても必要ではないかと思います。特に今はインバウンドが集中して多いところはオーバーツーリズムになっていて、地方に分散していきたいという動きの中で、受け皿になるべきこちらが対応するようになっていないと思う。

速水事務局長：民泊をされている方に聞くと、飲食店等食べるところを聞かれるそうですが、インバウンドに対応しているところも少ないかもしれません。

他に意見がないか確認し、閉会となる。